

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

|  |                         |                                   |  |                  |
|--|-------------------------|-----------------------------------|--|------------------|
| <b>事業名</b> 地域高規格道路 有明海沿岸道路<br><small>ありあけかいえんがんどうろ おおむた おおかわ</small><br>一般国道208号 有明海沿岸道路（大牟田～大川）   | <b>事業区分</b>             | 一般国道                              | <b>事業主体</b>  | 国土交通省<br>九州地方整備局 |
| <b>起終点</b><br>自：福岡県大牟田市新港町<br><small>おおむた しんこうまち</small><br>至：福岡県大川市大野島<br><small>おおかわし おおのしま</small>  |                         |                                   |  | 延長<br><br>27.5km |
| <b>事業概要</b><br>有明海沿岸道路（大牟田～大川）は、地域間の連携・交流を促進、陸海空の広域交通ネットワークを形成し、並行する国道等の混雑緩和・安全性の向上を図る重要な幹線道路である。  |                         |                                   |  |                  |
| S63年度事業化   | H10年度都市計画決定<br>(H一年度変更) | H2年度用地着手                          | H12年度工事着手  |                  |
| 全体事業費  | 約2,391億円                | 事業進捗率                             | 約64%   | 供用済延長            |
| 計画交通量  | 21,900～43,400台/日        |                                   |  |                  |
| 費用対効果<br>分析結果  | B/C<br>(事業全体)           | 総費用<br>(残事業)/事業全体<br>633/2,666億円  | 総便益<br>(残事業)/事業全体<br>2,129/5,067億円                                 | 基準年<br>平成25年     |
|  | (残事業)<br>1.9<br><br>3.4 | 事業費：592/2,552億円<br>維持管理費：40/114億円 | 走行時間短縮便益：1,770/4,248億円<br>走行経費減少便益：224/538億円<br>交通事故減少便益：135/280億円 |                  |
| <b>感度分析の結果</b><br>【事業全体】交通量：B/C=1.7～2.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.9～1.9（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.9～1.9（事業期間±20%）<br>【残事業】交通量：B/C=3.0～3.7（交通量 ±10%） 事業費：B/C=3.1～3.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=3.3～3.4（事業期間±20%）  |                         |                                   |  |                  |
| <b>事業の効果等</b><br>①広域交通ネットワークの形成<br>・沿岸8都市を高速でつなぎ、三池港IC（福岡県）～（仮）白石3IC（佐賀県）間の所要時間の短縮<br>②地域の活性化<br>・広域交通拠点・物流拠点の三池港へのアクセス改善<br>・地域開発計画の支援<br>③観光活動の支援<br>・沿線地域の観光地へのアクセス性の向上<br>④救急医療活動の支援<br>・第三次救急医療施設（佐賀市）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上<br>⑤交通混雑の緩和・安全性の向上<br>・並行する国道208号現道の交通混雑の緩和<br>・並行する国道208号現道の交通死傷事故発生件数の減少<br>⑥地域防災の支援<br>・国道208号の代替路となり、災害時の緊急輸送道路として機能 |                         |                                   |  |                  |
| <b>関係する地方公共団体等の意見</b><br>大牟田市をはじめとする4市で構成される①有明海沿岸道路建設促進福岡県期成会（会長：大牟田市長）、有明海沿岸道路沿線市町村で構成される②九州中部商工連合会（会長：大牟田商工会議所）により早期整備の要望を受けている。（①平成25年7月、②平成25年9月）   |                         |                                   |  |                  |
| <b>県の意見</b><br>有明海沿岸道路は広域的な連携を担う地域高規格道路であり、地域にもたらず整備効果は広域的でかつ大きいため、継続して整備すべきと考える。  |                         |                                   |  |                  |
| <b>事業評価監視委員会の意見</b><br>審議の結果、事業継続。   |                         |                                   |  |                  |

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の一帯あたりの自動車保有台数は、福岡県・九州全体よりも高く、自動車交通への依存度は高い。また、残区間に並行する国道208号現道の混雑度は約1.6である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末の事業進捗率は約64%であり、そのうち用地進捗率は約97%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

- ・大牟田北IC～黒崎IC（付加車線） L=1.3km（自専部4/4）：平成25年度開通予定
- ・徳益IC～柳川西IC L=4.5km（自専部2/4）：平成29年度開通予定

施設の構造や工法の変更等

- ・評価対象の変更（用地4車+工事2車→用地4車+工事4車）による増【約367億円増】
- ・三橋IC付近の構造変更による増【約14億円増】
- ・軟弱地盤対策工法の変更による減【約0.25億円減】

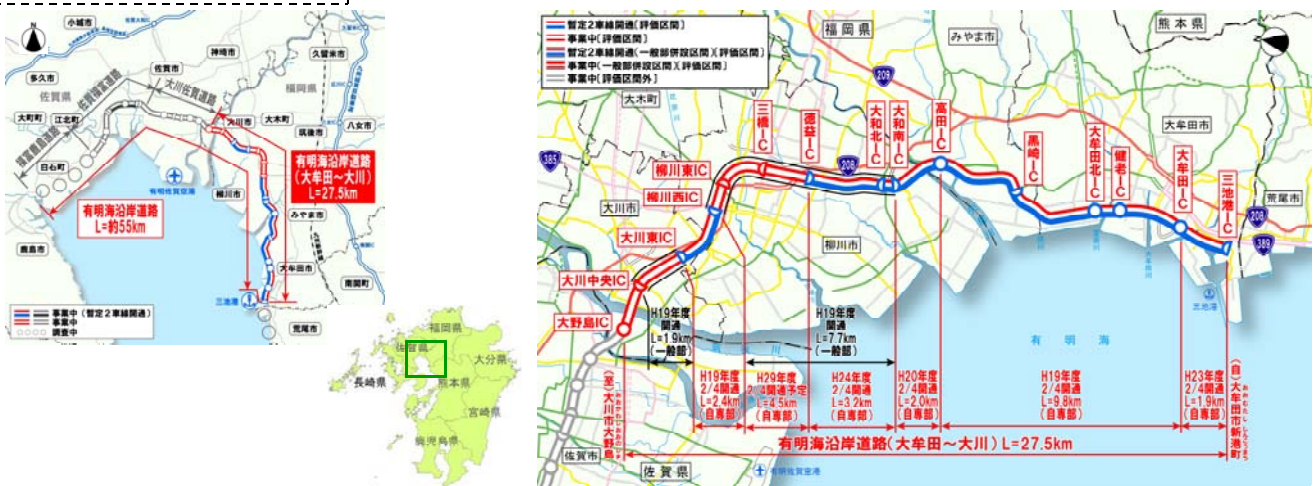
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上、事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。